

(未定稿)

「三重県センター博物館（仮称）基本計画」（平成6年3月）

1 目的

三重県の自然・歴史・文化を総合的にとらえ、日本・世界の中での位置付けを探るとともに、県民の交流と地域の国際化をうながす活動の場づくりを行う。

2 コンセプト

「総合博物館」及び「センター博物館」の考え方と、「県民に開かれた博物館」の性格を合わせ持つ博物館として位置付ける。

- ・人文科学、自然科学それぞれの分野の高度な専門化をめざす。
- ・三重県の自然・歴史・文化の関わりを総合的に探求する。
- ・ひと・もの・情報の交流と国際化を推進する。
- ・親しみやすく県民に開かれた博物館活動を実践する。

3 施設の基本的な性格

- ・21世紀を想定した博物館
- ・地域特性を生かした拠点となる博物館

4 事業活動

- ・基本的活動（基礎的な調査研究、収集保存活動、教育普及活動）
- ・総合研究活動 ・サロンミュージアム活動 ・情報センター活動

5 展示計画

- （1）総合展示：自然と人文を総合化した「自然と人とのかかわり」が中心テーマ
- （2）部門別展示：自然史系（自然の多様性）、人文系（人の営み）
- （3）稀少資料展示
- （4）臨時展示：企画展示、特別展示
- （5）屋外展示：自然環境を利用して表現する展示

6 立地場所

県総合文化センター隣接地（敷地面積 約5ha）

7 施設規模

延床面積 18,000 m²程度（別途、公文書館を整備）

8 整備費

280億円程度（非公式）

「新しい博物館を考える懇話会」報告（平成12年3月）

1 どういう博物館をめざすか

過去・現在を知ることにより自然と人の未来を考える役割を担い、活動全体に県民が主体的に関わり、誰でもが楽しむことができる博物館

2 テーマ

基本テーマ「自然と人の交差点」

自然系博物館と位置付けながらも、自然そのものだけを対象とするのではなく、自然と日常的な人のくらしとのかかわりの変遷や、これからの自然と人のあり方、つきあい方などについて、長期的な視点での探求を究極の目的とする。

3 研究対象

大地：土台となる地質や地形、地球

生命：恐竜やゾウ化石などによる生命の変遷と今に生きる動植物の多様性

人：自然の中における人々の生きるようす

4 特徴

- (1) 自然系に重点を置いた博物館
- (2) 開かれた博物館
- (3) 地域とともに活動をする博物館

5 具体的な活動

- (1) 子どもがいきいきする、おもしろい活動
- (2) 全県的な教育活動
- (3) 自然と人のかかわりのわかる展示
- (4) 情報センターとしての活動
- (5) 資料の保存と自然の保護
- (6) 基礎的な調査研究活動

6 立地環境

建設予定地（県総合文化センター隣接地）は、最も早期に建設が可能な場所であるが、早急な手入れも必要。

7 運営

学芸員だけでなく、教育普及を担当する教員、博物館運営の専門家、民間博物館関係者、ボランティアなどによる斬新な感覚を運営全般に取り込む。

博物館整備検討プロジェクト会議提言

「三重県の新しい博物館のあり方について」(平成16年1月)

1 新しい博物館の目的

人づくりに役立つ生涯学習施策を提供し、三重県を魅力ある社会にするための活動を行い、その拠点とする。

- ・高度化、多様化する生涯学習ニーズを支援する。
- ・三重県を記録し、保存し、後世に伝える。
- ・三重県を研究し、住みやすい三重県づくりに役立てる。
- ・社会支援(自然保護等)を行う県民の交流拠点の場を担う。

2 新しい博物館のテーマ

人が営む社会と自然との関係を調和し、安全で安心な社会を築いていくため、基本テーマを「みえ 人と自然の対話」とし、未来を担う人材育成を「人と人」、「人と自然」との関係を中心に行っていく。

この基本テーマのもと、5～6年を単位に、その時点の問題性を先取りしたサブテーマを設定し、そのテーマに沿った展示を行う。

新しい博物館は、「豊かなみえの自然と歴史を発見し、体験し、感動するミュージアム」をキャッチフレーズに、常にわくわくする心と新しい出会いがある博物館を目指す。

3 新しい博物館の機能

博物館の目的を達成するため、次の機能を持つ。

- ・三重県の人づくりを支援するシンクタンク機能
- ・三重県の生涯学習施策の統括的機能
- ・社会貢献運動、文化活動を支援する機能
- ・三重県の課題や潜在的な問題を研究する機能
- ・三重県の全体像を表し、人々に示す機能
- ・三重県の文化を県外に発信する機能
- ・三重県の子どもたちの教育増進を図る機能

4 特徴

- ・県内各地で博物館事業を展開するため、地域にその拠点となるサテライト施設を位置づける。
- ・民間活力の導入による効率的、機能的な整備、運営。
- ・生涯学習施設及び三重県総合文化センターとの連携。

「三重県立博物館整備方針」(平成17年3月)

1 目的

人づくりに役立つ生涯学習施策を提供し、三重県を魅力ある社会にするための活動を行い、その拠点となる。

2 テーマ

基本テーマ：「みえ 人と自然の対話」

サブテーマ：5～6年ごとに設定

3 機能

(1) 主体事業

収集・保存 調査・研究 展示 教育普及

(2) 支援事業

学校教育支援 自然保護・環境教育支援 文化振興支援 地域振興支援

4 構成

(1) コア博物館

総合的な博物館機能を持つ拠点施設として設置

(2) 移動展示館

自然保護や地域文化への意識を深める場として、各地域で展示を実施

5 コア博物館

(1) 立地場所

県総合文化センター隣接地が相応しい(約2.5ha)

(2) 施設規模

延床面積 8,000 m²

6 移動展示館

(1) 場所

県内5地域(北勢、中勢、南勢、伊賀、東紀州)

(2) 施設規模

300～700 m²程度

7 整備費(試算)

約72億円(建設51億円+土地21億円)